

※ 双葉町の井戸川克隆町長より、1日リレー上映会にご来場の皆さまへメッセージをいただきました。

ごあいさつ

本日は私たちの避難生活の一部を観ていただきますことに感謝を申し上げます。また、これまで多くの皆さまからの温かいご支援に心から御礼を申し上げます。

この事故は人災です。人に危害を与え、町や住む人々の生活を奪い、子どもたちの成長を妨げています。この映画に登場していない大勢の町民も毎日、苦難の中で生活をしています。

東京電力という一企業が犯した罪を問うこともなく、逆に原子力発電所を誘致したということで私たちが事故の原因者だと言われるような差別もあります。子どもたちは学校で肩身を狭くしています。放射能を私たちが出したものでもないのに双葉町に中間貯蔵施設を造れと県知事と国から強制されています。

私たちに責任はありますか。事故は絶対に起こさない、事故が起きるはずがないと言ってきたのは、国と東京電力です。その人たちは、償いもせずに自分の家で暮らし、職場もあるのです。こんな日本で、日本政府で良いのでしょうか。

私は常に言っています。「避難所生活をするのは東京電力と国である」と。「責任をしっかりと果たしてください」と言っています。このまま時効を迎えることを願っている責任ある人たちを皆さんの声で糾弾してください。

自己責任で事故の完全処理ができない電力会社は、原子力発電所を所有してはいけません。東京電力は国民に多くの負担をさせていることを皆さんは知っていますか。除染の法律には国民に責務を強いていることを知っていますか。

皆さん目を覚ましましょう。この事故を境に日本のお任せ民主主義に別れを告げましょう。立ち上がって国民の手で民主主義の修正をしましょう。

最後にご来場の皆さまのご健勝とご多幸をお祈りして御礼の言葉といたします。

平成24年11月

双葉町長 井戸川 克隆